

いわき総合高校 読書推進の取り組み（令和4年度）

【学校名】福島県立いわき総合高等学校

1 学校の概要

- ①所在地 いわき市内郷内町駒谷 3-1
- ②学級数・生徒数 15 学級・566 人
- ③学校図書館の蔵書数 14,101 冊

2 総合学科の学校図書館として

本校は総合学科高校として、単位制のカリキュラムによる多様な授業科目や、生徒の個性を活かした幅広いキャリア育成を実践している。学校図書館においても、学校方針のもと、特色ある学びの支援や個性的な生徒のニーズを反映させた運営を行っている。

3年間を通して各年次における探究活動では学校図書館との協力・連携を促進し、「課題研究」等の日には多くの利用がある。探究学習や進路選択に役立つ図書の利用促進が、生徒一人ひとりの読書活動に結びつくことが本校の特徴と言える。

3 学校図書館における読書推進活動の取り組み

(1) 親しみやすく、使いやすい環境づくり

- ①テーマ展示：季節や行事に合わせたテーマ以外にも、生徒の興味を引く小コーナーを配置している。
- ②季節や行事に合わせた館内ディスプレイ：特に七夕、秋の読書週間、クリスマス。
- ③イベント・企画：来館生徒が参加できる企画の実施(例)「七夕の短冊」「今年の漢字」「18歳成人コーナー」「図書委員作成の本のPOP投票」「リーディングトラッカーのワークショップ」など。



- ④面陳列を重視した配架：本の表紙を見せることで、手に取りやすく、書架が魅力的になるように工夫している。
- ⑤探究テーマに関連した配架：(図A)

(2) 読書習慣の定着及び読書の質の向上のために

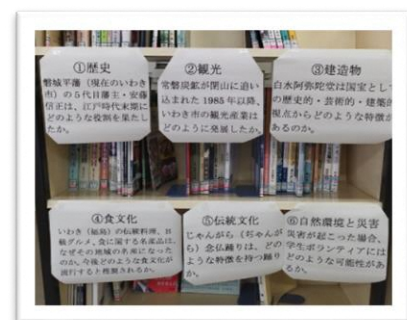
- ①図書日より「LIBRARY」(おすすめ本の紹介)と「ひこう船」(新着図書リストお知らせ版)、図書館報の発行。
- ②学校行事に合わせて「特別貸出」の実施。
- ③新着図書の掲示：図書館前廊下と生徒昇降口の掲示板に新着本の表紙コピーを掲示。
- ④予約・リクエスト制度と選書の工夫：生徒の「読みたい本」や課題研究等学習に「必要な本」を速やかに受け入れている。
- ⑤朝の読書の実施：読書週間期間の1週間、2年次が朝自習の時間に実施。開館時間を早め、朝の読書用図書の貸出をした。

(3) その他、読書推進へ向けた取り組み

- ①図書委員会の活動：係分担活動、読書アンケート集計、図書館清掃。いわき地区高等学校図書委員連合会事務局を務めた。



- ②雑誌リサイクル：前年分の古雑誌を処分に合わせて生徒に配布。
- ③新入生図書館オリエンテーション：1年次全クラス実施(感染症対策のため25分ずつ)
- ④多読者表彰



図A